

# 小松島競輪鴨島サービスセンターのサテライト化を

翔政クラブ 米崎 孝 議員

## 答 最重要項目として取り組んでいる



**米崎** 競輪事業は健全で明るいレジャーの場であり、多くのファンから信頼され、愛されている。しかも、その事業の収益金は、地方財政の充実に大いに貢献している。現在、江田・鴨島両車券売場の売上、入場者数、営業時間、従業員数、換金、借地料等はどうなっているのか。

**産業建設部長** 十八年度は、江田・鴨島ともに本場開催が七十日、場外発売が二百四十六日、合計三百十六日開催。江田の売上金額は、本場開催が一億六千八百万円余、場外発売が八億一

千万円余、合計九億七千九百万円。一日平均売上が三百九十万円、入場者数は十一万六千六百人、一日平均三百六十九人。発売時間は午前七時二十分から午後三時まで。従業員十名で発売と前日分の支払い業務。換金は翌日払い。借地料は四百八十万円である。

鴨島の売上金額は、本場開催が一億七千五百万円、場外発売が八億三千万円、合計十億九百万円、一日平均売上が三百十万円、入場者数が十一万六千人、一日平均三百六十七人。発売時間は午前七時三十分から午

**市長** サテライト（滞留型発売所）は、全国に四十九カ所ある競輪ファンへのサービスの拠点として、事業の一翼を担っている存在。鴨島のサービスセンターのサテライト化を最重要項目として取り組んでいる。また独立場外発売所の設置は、徳島市に限らず可能性を模索、検討する。



小松島競輪鴨島サービスセンター



小松島競輪マスコット  
ポンスター



小松島競輪江田前売場外売場

# 南海・東南海地震の 防災対策は

無所属クラブ 高木 幸次 議員

## 答 国、県の助成制度を活用し、 対策事業を進める

**高木** 将来必ず来ると言

われている震度五〜七の南海・東南海地震。本市は大変海に近く、大津波の襲来時には、赤石・和田島地区はもとより、市内は浸水し、被害は予想をはるかに超えるものと思われる。本市の防災対策は心配ないか。

**市長** 太平洋側南海トラフで、過去に、繰り返し

発生したマグニチュード八クラスの巨大地震及びその地震による津波で被害を受けた昭和の南海地震発生から六十年の節目に当たる本年、今後は三十年以内に五〇%の確率で発生するであろうと



横須海岸

危惧されている。

本市は、市民の生命・財産を守り、安心・安全なまちづくりを目指している。平成十七年には、津波ハザードマップの全戸配布を行ったが、市民一人一人に地震に対する意識対策も必要である。防災対策については、本市の現状も見極め、国、県等における助成制度等を活用しながら、各種防災対策事業等への要望もしていきたい。

### 市町村合併について

**高木** 旧坂野町当時、江

藤町長は、まちの活性化を思い、町民のために小松島市と合併したと聞いている。昭和から平成の今日に至っても、旧坂野町はいまだに道路・学校設備・交通の便においてもおかれている。

昨年の阿南市議会六月定例会と本年三月定例会において、今後のまちづくりの中で十万人構想の



小松島市役所

実現等に関連し、本市の旧那賀郡（立江町・坂野町）との部分合併の質問があり、新聞報道もされた。この部分合併について、市長はどのように考えているか。

**市長** このたびの阿南市の議論についても、関係

市町村の境界変更の協議、それぞれの議会の議決、県知事への境界変更の届出、県議会の議決、総務大臣への届出による告示等、手続次第では地方自治法上は可能であるが、現実的には大変難しいと思っている。



# 二重契約、二重払いでないのか

前進クラブ 出口憲二郎 議員

**答** 当時のいきさつがはっきりしないが、現時点では二重払いではないと考えている



小松島リサイクルセンター



**出口** 平成十一年十一月十一日付の「プラスチック類処理業務委託契約」は、同年四月一日付の「一般廃棄物処理業務委託契約」と重なり、二重契約となっていると思われる。また、この二つの契約委託料の算出基盤である、人件費、設備費、営業経費が、同一のものが使われており、よって二重払いとなっていると思われるが、見解を聞きたい。

**市民環境部長** 当時プラスチック類は可燃ゴミとして焼却処理をしたと思われる。よって廃プラスチック類の重複はない。また、委託料算出基盤の

重複については、増減それぞれ業務内容の変更があり、その結果として委託料を算出している。

**市長** 「一般廃棄物処理業務委託契約」は、早く改善すべきであるということ、平成十七年度をもって終了している。

## 競輪局不祥事件の責任の所在は？

**出口** 競輪局不祥事件の責任の範囲と所在について、調査特別委員会の意見書という形で議会の意見を出しているが、結論は出たのか。

**副市長** 議会からの意見書、市の内部調査及び警察の取り調べを参考に、改めて検証するため調査委員会を立ち上げたところである。今後、これら調査を踏まえ、法令の規定により職員が市に対して賠償責任を有すると認められるかどうかの精査を行いたい。これら一連の事務が終了した時点で市長に報告し、市長が決



小松島競輪場バンク

## 事務事業評価システム導入が遅れていないか

定する。

るのか。

**出口** 平成十七年十二月議会から四回にわたって取り上げている事務事業評価システムの導入について全く影も形も見えてこないが、どうなっ

**政策監** 各種補助金事業の評価など、一部取り組んでいる部分もあるが、これらの施行作業を踏まえ、本市に適した評価システムとなるよう今後改善を重ね、平成二十一年度には本格導入できるよう作業を進めて参りたい。

発足!!

## 議会基本条例勉強会

地方議会は、地方分権の時代にあつて、二元代表制のもと、地方公共団体の事務執行の監視機能及び立法機能を十分発揮しながら、日本国憲法に定める地方自治の本旨の実現を目指すものであります。

小松島市議会は小松島市民によって選ばれた議員で構成し、その役割と責務に基づく小松島市の意思決定機関であり、市民の福利のために活動するものであります。

議会は市民の意思を代弁する合議制機関であることから、自らの創意と工夫によって市民との協調のもと、小松島のまちづくりを推進していく必要があります。議会の公正性・透明性を確保することにより、市民に開かれた議会、市民参加を推進する議会を目指して活動を行っていくためにも、小松島市議会基本条例を定める必要があると考え、このたび、議会基本条例制定を目指し、議員全員参加のもと、勉強会を発足しました。



安平 剛之  
(小松島町)  
当選1回

### 「清く、正しく、公平に、そして強く」

この言葉が、議員活動が続けていくために掲げる、私の政治信条です。

「清く」とは、誘惑に負けない強い自分を持ち続けることです。

「正しく」とは、自分自身の判断をより正確にできるように、常日頃から切磋琢磨し、勉強し続けることです。何事にも意欲的に参加し、見聞を広めていきたいと思えます。

「公平に」とは、すべての市民に公平か、常に市民の皆さんのためになるかを自問自答し続けることです。

「そして強く」とは、清く・正しく・公平であることを、自分の信念とし、行動を起こすことです。小さなことでも「百言より一実行」を行い続ける所存です。

そして、高齢者には生きがいを持って安心できる町に、子どもたちには希望あふれる明るい未来が約束できる町にしていききたいと思っています。

この信条を常に持ち続け、精一杯精進していきますので、よろしくお願いいたします。

## 私の政治信条

### 農業から夢あるまちづくりを目指して

私は、去る平成十九年四月二十二日に行われた市議会議員選挙におきまして、多くの皆様の御支援をいただき、当選の栄に浴することができました。

安心して住むことができ、将来に希望や夢の灯りがともる小松島市「小さくてもキラリ夢あるまちづくり」を目指してまいります。

その実現のために、私の選挙公約では、市民の皆様にお約束した事項である「環境にやさしい循環型農業の追求・適正な利潤を確保できる農業の育成、特産品づくり・市道、農道の整備・水道の普及・高齢者が生きがいを感ぜられるまちづくり・子どもたちが夢と希望を持てるまちづくり」の各事業、取り組みについて、全力を傾けていく覚悟であります。

私自身に足らざる点が多いことを自覚しつつ、一層の御指導、御理解、御協力を賜りますようお願い申し上げます。私の所信表明といたします。



濱田 保徳  
(櫛淵町)  
当選1回



# 夜間議会開会

平成19年9月13日 午後6時より  
市民の皆さん傍聴にお越しく下さい。

## 平成19年9月定例会日程

月 日	曜	開議時刻	議 事	備 考
9月7日	金	午前10時	開会（議案提出）	
9月11日	火	午前10時	質疑・一般質問	
9月12日	水	午前10時	質疑・一般質問	
9月13日	木	午後6時	質疑・一般質問	夜間議会
9月18日	火	午前10時	委員会審査	総務常任委員会
9月19日	水	午前10時	委員会審査	文教厚生常任委員会
9月20日	木	午前10時	委員会審査	産業建設常任委員会
9月25日	火	午前10時	議決・閉会	

## 本別町交流訪問団 8名来市



立江小学校「友好交流の碑」前にて 訪問団と有志市議ほか

### 編集後記

三月定例会・第一回臨時会（五月）・六月定例会においての討議や、一般質問で、あらゆる角度から検証し、議論を重ねて、市民の皆さんにとって、より良い小松島市であるよう努力を重ねている議会の様子をお伝えするべく議会広報特別委員会は、この議会だよりの充実が一層図られるよう、努めてまいります。

改選後、新人議員五名を編集委員会メンバーとして迎えました。

新人五名の予想通りの力量発揮で、本号の発行の日を迎えることができましたことを、心より感謝をいたします。

委員長 立川 邦男

### 編集委員

立川 邦男  
出口 憲二郎  
天羽 篤作  
佐野 善恒  
北野 平剛  
安濱 田保  
井池 村保